



独立行政法人国立美術館

国立アートリサーチセンター

National Center for Art Research

PRESS RELEASE

2026年5月18日

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

日本のアートのリサーチポータルサイト

ART PLATFORM JAPAN

～アートの「日英対訳用語集」を5月18日公開～

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター（略称：NCAR）（東京都千代田区、センター長：田中正之）は、日本の近現代アートや日本全国の美術館コレクションに関する情報を広く集め国内外への提供を行うリサーチポータル「アートプラットフォームジャパン（Art Platform Japan、略称 APJ）」<https://artplatform.go.jp/ja> 内に、アートに関する専門用語の日英対訳用語集『APJ Japanese-English Bilingual Glossary（日英対訳用語集）』（約300用語）を本日より公開します。

<https://artplatform.go.jp/ja/research-guides/translation>

（日英対訳用語集を含む「アート翻訳に役立つ資料」（APJ内））

https://contents.artplatform.go.jp/wp-content/uploads/2026/05/APJ_glossary_20260518.pdf

（日英対訳用語集『APJ Japanese-English Bilingual Glossary（日英対訳用語集）』（PDF））

APJは日本全国の約220以上の美術館・博物館をはじめ、多数の機関や個人との協力・連携により成り立つ、日本の近現代アートおよび日本全国の美術館コレクションに関する情報を広く国内外へ提供するアート専門のウェブサイトです。日本のアートに関する調査研究（リサーチ）活動の支援に取り組むNCARは、ナショナルセンターとして日本全国の情報を幅広く集約するAPJの運営を通じて、世界のアート分野における日本の存在感の向上を目指しています。

APJ内の「アート翻訳に役立つ資料」では、美術分野の翻訳に必要なスタイルガイド、専門用語、翻字規則等を確認するための書籍やウェブサイトを紹介しており、美術文献や展覧会資料、作品解説などの英訳に携わる美術館・大学・研究機関の実務者・研究者を主な対象に、近現代アートに限らず、幅広い時代の美術資料に対応しています。

今回公開する日英対訳用語集は、アートに関する文章を日本語から英語へ翻訳する際に課題となってきた専門用語の英訳について、適切な訳語選択のための手がかりを提供することにより、翻訳の基盤整備を図り、国際的な理解促進に資することを目的として作成したものです。近年、日本のアートに関する用語整備や翻訳支援の取組みが進む中で、本用語集は、日本の近現代アートの専門用語に焦点を当てている点に特徴があります。美術団体、制度、展覧会に関わる語彙など、近現代ならではの文脈を踏まえた用語を整理することで、日本のアートに関する批評や文献の英語による発信を支援します。

本用語集では、APJ内の「日本アーティスト事典」（DAJ）で使用した用語を中心に選定し、各項目にローマ字表記（Transliteration）、英訳（English Translation）、原語（Japanese Name）を掲載しました。さらに、一部の用語には簡単な解説を付し、類似した専門用語が多い日本のアート分野において、各用語の違いを区別して理解できるよう配慮しています。

本用語集の公開により、日本の近現代アートに関する知識や議論が、言語の壁を越えて国際的に共有されやすくなることが期待されます。APJの日英対訳用語集は、今後も用語の追加や改訂を随時行い、日本のアートに関する研究・批評・発信の国際的基盤を強化することで、日本のアートの理解促進とプレゼンス向上に貢献して参ります。

<報道関係のお問合せ先>

国立アートリサーチセンター広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

担当：名取・渡辺・星川

TEL：03-4570-2273（平日10:00～18:00）FAX：03-4580-9127

E-mail：ncar@prap.co.jp

<NCARウェブサイト>

<https://ncar.artmuseums.go.jp/>